

北海道版幼児教育スタートプログラムの活用について

北海道教育庁学校教育局義務教育課幼児教育推進センター

活用例1

幼児期及び幼保小接続期の教育の重要性を共有したい

- 幼児期の重要性や保育者の仕事の意義を全職員で確認したい。
- 幼小連携・接続の取組を始めるに当たって、全職員でその重要性や意義の共通理解を図りたい。
- 保護者へ幼児期及び幼小接続期の教育の重要性を発信したい。
- 幼保小の架け橋プログラムの意義について、幼児教育施設、小学校及び自治体等で共通理解を図りたい。等



北海道版幼児教育スタートプログラムでは、1つのテーマを1ページにまとめています。

必要なページを印刷したり、大型モニタ等で提示したりしながら、園内研修や校内研修、保護者懇談、各種会議等で説明資料として活用することができます。

活用例2

幼保小の架け橋プログラムについて知りたい・充実を図りたい

- 幼保小の架け橋プログラムの基本を理解したい。
 - ・「幼保小の架け橋プログラム」と「架け橋期のカリキュラム」は、何が違うの？
 - ・架け橋期のカリキュラムと教育課程・全体的な計画との関係は？
 - ・架け橋期のカリキュラムの作成方法は？ 等
- 幼保小の架け橋プログラムを推進するための体制を構築したい。
- 幼保小の架け橋プログラムの「よさ」について知りたい。
- 作成した架け橋期のカリキュラムの充実を図りたい。 等



北海道版幼児教育スタートプログラムでは、幼保小の架け橋プログラムの基本や取組の進め方、指定地域における成果などを掲載していますので、幼保小の架け橋プログラムを始めるに当たって、関係者が理解を深めるための資料として活用することができます。

また、すでに架け橋期のカリキュラムを作成済の地域においては、カリキュラムを開発する際の話合いの例やエピソード等を参考にするなど、見直しを図る際の視点として活用することができます。

活用例3

幼小接続期の幼児教育施設・小学校の実践について知りたい

- 幼稚園教育要領等の3要領・指針では、「小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。」とされているので、具体的な取組について知りたい。
- 小学校学習指導要領では、「幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。」とされているので、具体的な取組について知りたい。 等



北海道版幼児教育スタートプログラムでは、幼保小の架け橋プログラムの調査研究を実施したえりも町・佐呂間町の取組を中心に、実践内容やそれに伴う先生や子どもの変容をエピソードとして紹介しています。

保育及び教育活動の充実に向けた参考資料として活用することができます。

活用例4

小学校接続加算における「加算の要件」の具体的な取組について知りたい

- 加算の要件 iii に示されている5歳児から小学校1年生の2年間のカリキュラムの具体について知りたい。
- 加算の要件 iii に示されている小学校との継続的な協議会における取組内容について知りたい。 等



子ども・子育て支援制度においては、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた小学校への円滑な接続を図るため、小学校との連携・接続に取り組む幼児教育施設に補助を行っています。更に令和6年度から、架け橋期の教育の更なる充実を図るため、小学校と協働して架け橋期のカリキュラムを編成・実施している幼児教育施設へ加算額を増額しています。

幼児教育施設や自治体の担当課においては、北海道版幼児教育スタートプログラムで加算の要件の具体的な取組を確認することができます。